

「透水性高炉スラグ舗装」と「土系舗装」との経年比較

■ 同じ現場で、同時期採用された「透水性高炉スラグ舗装」と「土系舗装」の経年変化の状況

＜施工場所＞ あけぼの子ども森公園／飯能市（平成9年7月 施工）

	■6年後 (平成15年8月撮影)	■11年後 (平成20年5月撮影)	■16年後 (平成25年8月撮影)
透水性高炉水砕スラグ舗装	 平坦性あり、表面変化なし(歩行性良好)	 相変わらず表面変化なし(歩行性良好)	 依然として歩行性良好
土系舗装	 表面が凸凹状態(歩行性不良)	 表層がハクリし地盤が露出(歩行性不良)	 中央部がえぐれて歩行性が悪い
両舗装が隣接する箇所の状況			
透水性高炉水砕スラグ			
土系舗装			

※本公園は「第14回都市公園コンクール」において「建設大臣賞」、及び「成10年度建設省「まちづくり県土賞」をダブル受賞

■ その他同一現場で採用された両舗装の状況比較

＜施工場所＞
長野県/
国営アルプスあづみ野公園



透水性高炉水砕スラグ舗装



土系舗装

全面、当社透水性高炉水砕スラグ舗装に変更